

平成 20 年度 東海大学 一般入試 A 方式 (受験日自由選択方式)
 数学 I・数学 II・数学 A(70 分) 平成 20 年 2 月 9 日
 政治経済学部・総合経営学部・法学部・教養学部・国際文化学部
 芸術工学部・開発工学部・海洋学部・健康科学部

次の空欄を埋めなさい。

解答は、分数の場合には既約分数の形で書きなさい。

- 1 (1) $y = 4 - \sin^2 x - 4 \cos x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) の最大値は であり、最小値は である。
- (2) 次の式を展開すると、
 $(x + \sqrt{2} + \sqrt{3})(x + \sqrt{2} - \sqrt{3})(x - \sqrt{2} + \sqrt{3})(x - \sqrt{2} - \sqrt{3}) =$ である。
- (3) $a = \frac{2\sqrt{3}}{\sqrt{3} - \sqrt{2}}$ の分母を有理化して整理すると $a =$ である。この a を用いて $(a-6)(a-3)$ を計算すると となる。また、 $a^2 - 6a =$ となる。
- (4) $(x-2)(x^2-x+2) + x^2-2x+3$ を実数の範囲で因数分解すると となる。
- 2 大小 2 個のサイコロを投げ、出た目の数をそれぞれ x, y とし、分数 $\frac{y}{x}$ を作る。
- (1) $\frac{y}{x} = 2, \frac{y}{x} = \frac{1}{5}$ となる確率はそれぞれ , である。
- (2) $\frac{y}{x} = 1$ となる確率は であり、 $\frac{y}{x} < 1$ となる確率は である。
- (3) $\frac{y}{x}$ が整数になる確率は であり、 $\frac{y}{x}$ が 1 以上の分数であって整数にならない確率は である。
- (4) $\frac{y}{x}$ の値のとり方は全部で 通りある。
- 3 (1) 鋭角三角形 ABC において、 $AC = 6, BC = 5$ とし、その面積を $6\sqrt{6}$ とする。このとき、 $\sin C =$ であり、 $\cos C =$ である。また、辺 AB の長さは であり、外接円の半径は である。
- (2) 長さが 20 の線分 AB 上に点 P をとり、AP を 1 辺とする正三角形と BP を 1 辺とする正三角形を作る。これら 2 つの正三角形の面積の和が最小となるのは $AP =$ のときであり、そのときの面積の和は である。

解答例

- 1 (1) $4 - \sin^2 x - 4 \cos x = \cos^2 x - 4 \cos x + 3$ であるから
 $\cos x = t$ とおくと, $0 \leq x \leq 2\pi$ より

$$y = t^2 - 4t + 3 = (t - 2)^2 - 1 \quad (-1 \leq t \leq 1)$$

この関数のグラフは, 下に凸の放物線で, 軸は $t = 2$ である.
 $t = -1$ のとき最大値 8 をとり, $t = 1$ のとき最小値 0 をとる.

$$\begin{aligned} (2) \quad & (x + \sqrt{2} + \sqrt{3})(x + \sqrt{2} - \sqrt{3})(x - \sqrt{2} + \sqrt{3})(x - \sqrt{2} - \sqrt{3}) \\ &= \{(x + \sqrt{2})^2 - (\sqrt{3})^2\} \{(x - \sqrt{2})^2 - (\sqrt{3})^2\} \\ &= (x^2 + 2\sqrt{2}x - 1)(x^2 - 2\sqrt{2}x - 1) \\ &= \{(x^2 - 1) + 2\sqrt{2}x\} \{(x^2 - 1) - 2\sqrt{2}x\} \\ &= (x^2 - 1)^2 - (2\sqrt{2}x)^2 \\ &= x^4 - 2x^2 + 1 - 8x^2 \\ &= \mathbf{x^4 - 10x^2 + 1} \end{aligned}$$

$$(3) \quad a = \frac{2\sqrt{3}}{\sqrt{3} - \sqrt{2}} = \frac{2\sqrt{3}(\sqrt{3} + \sqrt{2})}{(\sqrt{3} - \sqrt{2})(\sqrt{3} + \sqrt{2})} = \mathbf{6 + 2\sqrt{6}}$$

$$\begin{aligned} (a - 6)(a - 3) &= \{(6 + 2\sqrt{6}) - 6\} \{(6 + 2\sqrt{6}) - 3\} \\ &= 2\sqrt{6}(3 + 2\sqrt{6}) \\ &= \mathbf{6\sqrt{6} + 24} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} a^2 - 6a &= a(a - 6) \\ &= (6 + 2\sqrt{6})\{(6 + 2\sqrt{6}) - 6\} \\ &= (6 + 2\sqrt{6}) \cdot 2\sqrt{6} \\ &= \mathbf{12\sqrt{6} + 24} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (4) \quad & (x - 2)(x^2 - x + 2) + x^2 - 2x + 3 \\ &= x^3 - 2x^2 + 2x - 1 \\ &= x^3 - 1 - 2x(x - 1) \\ &= (x - 1)(x^2 + x + 1) - 2x(x - 1) \\ &= (x - 1)\{(x^2 + x + 1) - 2x\} \\ &= \mathbf{(x - 1)(x^2 - x + 1)} \end{aligned}$$

答 ア. 8 イ. 0 ウ. $x^4 - 10x^2 + 1$ エ. $6 + 2\sqrt{6}$ オ. $6\sqrt{6} + 24$
カ. $12\sqrt{6} + 24$ キ. $(x - 1)(x^2 - x + 1)$

2 大小2個のサイコロの目の出方は 6×6 の36通り

(1) $\frac{y}{x} = 2$ となるのは $(x, y) = (1, 2), (2, 4), (3, 6)$ の3通り

よって、求める確率は $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$

$\frac{y}{x} = \frac{1}{5}$ となるのは $(x, y) = (5, 1)$ の1通り

よって、求める確率は $\frac{1}{36}$

(2) $\frac{y}{x} = 1$ となるのは

$(x, y) = (1, 1), (2, 2), (3, 3), (4, 4), (5, 5), (6, 6)$ の6通り

よって、求める確率は $\frac{6}{36} = \frac{1}{6}$

$\frac{y}{x} < 1$ となるのは

$x = 2$ のとき $y = 1$

$x = 3$ のとき $y = 1, 2$

$x = 4$ のとき $y = 1, 2, 3$

$x = 5$ のとき $y = 1, 2, 3, 4$

$x = 6$ のとき $y = 1, 2, 3, 4, 5$

の $1 + 2 + 3 + 4 + 5$ の15通り

よって、求める確率は $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$

(3) $\frac{y}{x}$ が整数となるのは

$x = 1$ のとき $y = 1, 2, 3, 4, 5, 6$

$x = 2$ のとき $y = 2, 4, 6$

$x = 3$ のとき $y = 3, 6$

$x = 4$ のとき $y = 4$

$x = 5$ のとき $y = 5$

$x = 6$ のとき $y = 6$

の $6 + 3 + 2 + 1 + 1 + 1$ の14通り

よって、求める確率は $\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$

$\frac{y}{x}$ が 1 以上の分数であって整数にならないのは

$$x = 2 \text{ のとき } y = 3, 5$$

$$x = 3 \text{ のとき } y = 4, 5$$

$$x = 4 \text{ のとき } y = 5, 6$$

$$x = 5 \text{ のとき } y = 6$$

の $2+2+2+1$ の 7 通り

よって、求める確率は $\frac{7}{36}$

(4) $\frac{y}{x} < 1$ となる値の取り方を調べると

$$\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6}, \frac{1}{3} = \frac{2}{6}, \frac{2}{3} = \frac{4}{6}, \frac{1}{4} = \frac{3}{4}, \frac{3}{4} = \frac{1}{5}, \frac{2}{5} = \frac{3}{5}, \frac{4}{5} = \frac{1}{6}, \frac{5}{6}$$

の 11 通りある．同様に $\frac{y}{x} > 1$ となる値も 11 通りある．これらの値の取り方と $\frac{y}{x} = 1$ となる値の取り方を含めて、 $11+11+1$ の 23 通り．

答 ア. $\frac{1}{12}$ イ. $\frac{1}{36}$ ウ. $\frac{1}{6}$ エ. $\frac{5}{12}$ オ. $\frac{7}{18}$ カ. $\frac{7}{36}$ キ. 23

3 (1) $AC = 6, BC = 5, S = 6\sqrt{6}$ を $S = \frac{1}{2}AC \cdot BC \sin C$ に代入すると

$$6\sqrt{6} = \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot 5 \sin C \quad \text{これを解いて} \quad \sin C = \frac{2\sqrt{6}}{5}$$

$\sin^2 C + \cos^2 C = 1$ から

$$\cos^2 C = 1 - \sin^2 C = 1 - \left(\frac{2\sqrt{6}}{5}\right)^2 = \frac{1}{25}$$

C は鋭角より、 $\cos C > 0$ であるから $\cos C = \sqrt{\frac{1}{25}} = \frac{1}{5}$

余弦定理により

$$\begin{aligned} AB^2 &= BC^2 + CA^2 - 2BC \cdot CA \cos C \\ &= 5^2 + 6^2 - 2 \cdot 5 \cdot 6 \cdot \frac{1}{5} \\ &= 49 \end{aligned}$$

$AB > 0$ であるから $AB = 7$

外接円の半径を R とすると、正弦定理により $\frac{AB}{\sin C} = 2R$

したがって $R = \frac{1}{2} \times \frac{AB}{\sin C} = \frac{1}{2} \times 7 \div \frac{2\sqrt{6}}{5} = \frac{35}{4\sqrt{6}} = \frac{35\sqrt{6}}{24}$

(2) $AP = x$ とすると、 $BP = 20 - x$

AP, BP を 1 辺とする 2 つの正三角形の面積の和を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2}x^2 \sin 60^\circ + \frac{1}{2}(20 - x)^2 \sin 60^\circ \\ &= \frac{\sqrt{3}}{4}\{x^2 + (20 - x)^2\} \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2}(x^2 - 20x + 200) \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2}(x - 10)^2 + 50\sqrt{3} \end{aligned}$$

したがって、 $x = AP = 10$ のとき、 S は最小値 $50\sqrt{3}$ をとる。

答 ア. $\frac{2\sqrt{6}}{5}$ イ. $\frac{1}{5}$ ウ. 7 エ. $\frac{35\sqrt{6}}{24}$ オ. 10 カ. $50\sqrt{3}$